




收受年月日	議長	事務局長	書記
2.9.3			
第 83 号			

令和2年9月3日

埴町議会議長 割貝 寿一 様



総務常任委員会委員長 七 宮 広 樹



所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を下記のとおり実施したので、埴町議会会議規則第77条の規定により報告する。

記

1 調査事件 はなわこども園の運営状況と内部事務について

2 調査経緯

本委員会は、はなわこども園の運営状況と内部事務について、担当課から聞き取りと合わせて現地調査を行った。

調査日 令和2年7月2日(木)

出席委員 七宮広樹、鈴木元久、鈴木 茂、青砥與藏、吉田広明、金澤太郎
割貝寿一

説明員 はなわこども園長、副園長、保育部主任主査保育士
学校教育課長、管理係長

職務出席者 議会事務局長、書記

場 所 はなわこども園

3 調査結果

(1) 現状と調査結果

実施にあたり、令和2年4月1日に開園したが、新型コロナウイルス感染防止のために、国から緊急事態宣言が出され入園式後に休園となったが、解除後の地域の状況を十分に検討しながら、子どもたちや保護者の不安や園側の状況を考慮し、時期を見極めて今回所管事務調査を実施した。

調査の冒頭、はなわこども園長から園の概要(最大収容可能人数270名で時間外保育は幼稚部108名、保育部48名)や、教育理念である『未来を力強く生き抜く子どもを育成するはなわこども園』の詳細と、目指す保育や教育の『基

本的生活習慣の自立を目指し、心豊かな人間形成の基礎を培う』と説明があった。

その後、広々とたくましさを感じながら遊戯室、職員室、保育部や幼稚部の各クラス、給食室の状況を視察しながら担当職員より説明を受け再度会議室へ戻り質疑を行った。

(2) 運営面での課題等

- ・床からの立ち上げガラス面に園児が接触防止する対策は、消防法との関連で、着色フィルム貼りやその他を検討している。
- ・待機児童は0歳1名、1歳2名であった。変則的な待機数ではあるが、保育士が1～2名不足しており、職員確保に継続的な対応を望みたい。
- ・施設一部で天井の剥がれ、空調の騒音苦情などへの対処をしていた。
- ・登園時の駐車場不足は、職員の車を役場駐車場に移動して対応をしているが、周辺に駐車場の確保が望まれる。
- ・園東側の町道との境に、侵入防止フェンスの設置の話も出たが、今後の課題である。

4 委員報告書

別紙のとおり

收受年月日	委員長	委員派遣	書記
2・7・16	委員派遣	委員派遣	調査
第 号	委員派遣	委員派遣	調査
議会議員	委員派遣	委員派遣	調査

研修等報告書

令和 2 年 7 月 1 6 日

委員会委員長

様



提出者 金澤 太郎

派遣目的 (調査等 名称)	総務常任委員会所管事務調査		
派遣の 日時	令和 2 年 7 月 2 日 10 時より	派遣先 (場所)	埴町立はなわこども園
内容	こども園の運営状況等についての調査		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	・ 建屋全般		
	明るく開放的な空間でのびのび育てるコンセプトに基づき設計されてい		
	るとのことで、壁面ガラスの多用により、開放的で明るい空間の実現がさ		
	れており、良い環境と思う。		
	・ 壁面ガラスの多用		
	①ハウスと同じとの指摘が一部にあるが、外壁面には断熱保温効果のある		
	ペアガラスが使用され、また下屋のせり出しもあり、天井面内部の断熱仕		
	様は当然されていると推量されることから、エアコン使用は想定される範		
	囲内の稼働で収まると思われる。		
②壁面ガラスの衝突防止のための目印として、スリットが入っているが、			
位置が高いように思う。			
③園児に集中して欲しい時に、外が見えてしまい集中が途切れる、壁面掲			

示ができない等の声があったが、教育委員会と密に連携を取り、ガラスの安全性を損ねないように必要な手当てを行い、開放的な空間活用を願う。

・遊具の未設置

乳幼児教育において、遊具は心身の健全な発達のために必須であり、早々に園庭遊具を手当てすべきと考える。

・占有エリアの拡充

こども園東側に侵入防止柵が無く、幼稚部では、外部からの観察者に不安を覚える場面もあると伺った。当初のコンセプトとは変更になると思うが、みんなの広場と軒下広場まで含めて侵入防止柵を設けるなどすることで、園庭の面積拡充と外部からの侵入不安の払拭になるのではないか。



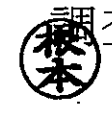
・待機児童

施設規模では待機児童ゼロの体制は取れるようになったが、保育士不足の為、待機児童が発生している。保育士の危急な体調不良時の代替要員確保等も含め、余裕を持った人員確保が急務である。所管・人件費の問題もあるが、対象数の減少見込みでギリギリの人員を確保するのではなく、有資格者を役場正職員として採用し、必要に応じて配属先変更で対応可能な体制を取っておく等の抜本的な構造改革が必要ではないか。

・スクールバス

シートベルトは義務化されており、幼児用シートを備えたスクールバスの早期導入は是非行って頂きたい。乗車補助員の確保等は、民間企業であれば定時業務の一つととらえ、他部門でフォローするなど解決策の無い問題ではない。

以上

收受年月日	委員長	事務局長	書記
2023.8.12			
第 号			

様式 1

調査研修等報告書

2023年 8月12日




議会議長
委員会委員長

様



提出者 劉 貞 壽 一

派遣目的 (調査等 名称)	総務常任委員会所管事務調査		
派遣の 日時	令和2年 7月2日 (木) 10:00~	派遣先 (場所)	はなわこども園
内容	はなわこども園の運営状況と内部事務について		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>運営状況は 限られた人数で 工面しながら 頑張っていると思われる。</p> <p>ガラス張りの施設であるため、子供の集中力 低下、ガラスへの衝突等 対策を考えるが 壁の必要性を言っていた。</p> <p>駐車場、冷暖房費の初向と気がついた。</p>		

收受年月日	委員長	事務局長	書記
2022.7.17			
第 号	議員派遣・委員派遣		
所管事務調査報告書			

令和2年7月17日

総務常任委員会
委員長様



提出者 七宮 広樹

派遣目的 (調査等名称)	総務常任委員会		
派遣の日時	令和2年7月 2日 (水)	派遣先 (場所)	はなわこども園 (現地)
内容	1) はなわこども園の運営状況と内部事務について		
派遣結果 (意見及び感想)	<p>実施に当たり</p> <p>令和2年4月1日に開園したが、新型コロナウイルス感染防止の為に、国からの緊急事態宣言が出され入園式後に休園となったが、解除後の地域の状況を十分に検討しながら、子供たちや保護者の不安や園側の状況を考慮し、時期を見極めて所管事務調査を実施した。</p> <p>1) はなわこども園の運営状況と内部事務について</p> <p>始めに大越園長より、はなわこども園の教育理念である「未来を力強く生き抜く子どもを育成するはなわこども園」の詳細と、目指す保育・教育の「基本的な生活習慣の自立を目指し、心豊かな人間形成の基礎を培う」お話を伺う。</p> <p>その後、広々とした新たな環境の中で子供たちが笑顔で元気いっぱい過ごす姿に、安心とたくましさを感じながら遊戯室・職員室・保育部の各クラス・給食室・幼稚部の各クラスの状況を視察しながら説明を受けた。</p> <p>その後、子育て支援エリアの会議室で総合的な質疑をおこない各委員からは、特にガラス面が多く使われている施設の短所を始め、室外機の騒音対策・雨水の吹き込み対策・駐車場の確保・待機児童の解消・職員の募集と確保・園庭遊具の設置などについて質疑があった。大越園長からは諸課題について対策を講じながら取り組み、更には今後どのように使って行くのかを課題に、協議を重ねて行く事を伺った。</p>		

收受年月日	委員長	事務局長	書記
2・7・16	議員派遣	議員派遣	調査
第 号	委員派遣	委員派遣	根本

調査研修等報告書

2年 7月 16日

議会議長
委員会委員長

様



提出者 鈴木元久

派遣目的 (調査等 名称)	はなわこども園の運営状況と内部事務について		
派遣の 日時	令和2年7月2日(木) 10:00~	派遣先 (場所)	はなわこども園
内容	はなわこども園内の入園状況と職員数及び時間外の保育状況		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>調査のまとめ はなわこども園について 令和2年4月1日に開園され 未来を力強く生き抜く子どもの育成する教育理念とげんきで やさしく、がんばるを目標にたてています。 一人ひとりが元気に遊んで学んでいる様子と園内を歩き感じられれた。大きな声で挨拶している様 最大収容可能人数 270名 幼稚部 163名 (年少49名, 年中60名, 年長54名) 保育部 62名 (0歳児9名, 1歳児18名, 2歳児35名)</p> <p>職員数 園長1, 副園長1, 主査1。 幼稚部 教諭9名, 会計年度任用職員11名 合計20名 保育部 保育士9名 会計年度任用職員栄養士等 合計24名 尚0歳児は保育士1名につき園児3名, 1歳児2歳児は保育士1名につき園児6名が 基準となっています。</p> <p>時間外保育 幼児部預り保育108名 (年少31名, 年中36名, 年長41名) 保育部 特別保育 48名 (0歳児6名, 1歳児15名, 2歳児27名) 預り保育職員6名と教諭と保育士で見えています。</p> <p>こども園の要望としては, 保育士の増員(1~2名), 駐車場の確保, 東側に フェンス(特に職員室と保育室), ガラスに高さ90cm位鉄フェルトを貼ってほしい。 遊具の設置 (場所と遊具については保護者と相談し検討するとの事でした。)</p>		

收受年月日	委員長	事務局長	書記
2.7.	議員派遣	調査	修等報告書
第	委員派遣	田	本

様式 1

令和 2 年 7 月 3 日

七宮 広樹 総務常任委員長 様



提出者 吉田 広明

派遣目的 (調査等 名称)	総務常任委員会事務調査報告書		
派遣の 日時	令和 2 年 7 月 2 日	派遣先 (場所)	はなわこども園
内容	はなわこども園の運営状況と内部事務についての調査		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>1、運営状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査日は4～5歳園児が教育委員会の移動バスでP&Gのプールを利用して、保育部との混雑や事故防止が図られていた。 ・0歳児の教室は感染症の観点から担任の保育士しか入室出来ないようになっている。園内保健担当として2名の職員を配置していた。 ・保育部の給食は、町調理職員が作り、アレルギー対応としての隔離厨房が設置されていて、旧はなわ幼稚園にもなかった充実した設備であった。 ・ガラス面の多さから空調費の支出が懸念されていたが、施設電気代は、月額30万程度であり、建築面積から考えると妥当である。 <p>2、課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床からの立ち上げガラス面に園児が接触防止する対策は、消防法との絡みで、着色フィルム貼りやその他を検討している。 ・待機児童は0歳1名、1歳2名であった。変則的な待機数ではあるが、保育士1～2名が不足しており、職員確保に継続的な対応を望みたい。 ・施設関連で一部天井の剥がれ、空調の騒音の苦情などの対処をしていた。 ・朝の駐車場不足は、職員の車を役場の駐車場に移動するなどの対応をしているが、近隣に駐車場の確保が望まれる。 ・東側町道境に侵入防止フェンスの設置の話も出たが、今後の課題とする。 <p>総評：開園間もなく不慣れや改善すべき課題も認識しているので、早期改善や年次計画に折り込み対処して頂きたい。教育理念を踏まえながら、他町村と比較をしても決して退けを取らない園舎であり、町の誇りある施設として、未来ある子供達の積極的な支援を今後ともに望む。</p>		

收受年月日	委員長	事務局長	書記
2.7.10			
第 号	総務常任委員会所管事務調査報告書		



提出者 鈴木茂

日時 令和2年7月2日(木)10:00~

場所 はなわこども園

第1 はなわこども園の運営状況と内部事務について

園内外の視察を随時説明を受けながら行いました。その後室内にて園長より、目指す保育や教育理念について説明を受けました。特に強調されたのが「生き抜く力」を持つ子ども達を育てることだと話されました。その後質疑応答や幼稚部、保育部からの要望を聞きました。待機児童がいるかとの問いには保育士が不足しており何名かいるとのこと・又交代員も不足していると報告された。光熱費は現在32万位であるが今後真夏、真冬には増えるものと思われる。駐車場が狭く保育士は旧保育園に車を置き乗り合わせて登園するそうである。又保育部の道路側にフェンスを設置してほしい、園庭に遊具を設置してほしいなどの要望があった。

所見 総ガラス張りであり断熱効果がなく子どもがぶつかる、隣が見えすぎるなどの弊害がある。見た目だけの良さにとらわれ機能性を持った使い勝手のよいものとは思えない、又ランニングコストにも疑問がある。大金を使って造ったにはお粗末といえる。

